ヨーロッパ州

名前

問1　ヨーロッパ連合（EU）が、域内での経済的な結びつきを強め、人や物の移動をより円滑にすることを目的として導入した共通通貨の名称を答えなさい。（2014年 和歌山県公立入試 類似）

1. ポンド　2. ドル　3. フラン　4. ユーロ

問2　北緯60度付近にあるノルウェーのある地点では、年平均気温が約12℃、冬の月平均気温が氷点下に下がらず、年間を通して安定した降水が見られる統計データが示されています。このような高緯度にもかかわらず温暖な気候条件が、周辺地域の産業に与えている影響として正しい説明はどれですか。（2018年 東京都公立入試 類似）

1. 暖流の影響で海が凍らないため、冬でも北海での石油・天然ガス採掘や船舶による輸送が可能になる。
2. 一年中高温多雨な熱帯雨林気候となるため、天然ゴムやカカオのプランテーションが展開される。
3. 夏に降水量が極端に少なくなるため、乾燥に強いオリーブやブドウの栽培が盛んに行われる。
4. 極めて乾燥した砂漠気候となるため、外来河川を利用した大規模な灌漑農業が行われる。

問3　イタリアの農業統計において、小麦の生産量が米の生産量を大きく上回っている状況があります。この農業的な特徴が、イタリアの食文化にどのような影響を与えていると考えられますか。最も適切な説明を選びなさい。（2024年 東京都公立入試 類似）

1. 生産量の多い小麦を主原料とした、パスタやピザを食べる文化が定着している。
2. 米の生産が困難なため、とうもろこしを主食としてそのまま食べる文化が中心である。
3. オリーブの栽培に特化しているため、穀物を全く摂取しない食生活が一般的である。
4. 寒冷な気候で育つライ麦の生産が多いため、黒パンを主食とする文化が普及している。

問4　欧州連合（EU）において、一人あたりの国民総所得が相対的に低い東欧諸国が加盟したことで生じている、経済的な事象として正しいものはどれですか。（2017年 山口県公立入試 類似）

1. 東欧諸国の所得水準に合わせて、西欧諸国の一人あたりの国民総所得が年々減少している。
2. 東欧諸国の豊かな資本が西欧諸国へ投資され、ヨーロッパ全体の経済成長を支えている。
3. 加盟時期による経済格差を解消するため、すべての加盟国の所得を強制的に平均化する制度が導入された。
4. 賃金の安さを求めて、西欧諸国の企業が東欧諸国へ工場を移転させる動きが見られる。

問5　ヨーロッパ連合（EU）の加盟国間で共通通貨である「ユーロ」が導入されたことによって得られる利点について、適切に述べたものはどれですか。（2021年 鳥取県公立入試 類似）

1. 国境を越えて移動や買い物をする際、両替の手間や手数料を省くことができ、経済活動が効率化される。
2. EU加盟国のすべてがこの通貨を導入することで、各国の独自の税制や経済政策が完全に禁止される。
3. 域内における農作物の価格をすべて統一することができ、農家の収入が完全に保証される。
4. ヨーロッパにあるすべての国で利用可能であるため、アジアやアメリカとの貿易において為替の影響を全く受けなくなる。

問6　2019年時点における世界の主要な国・地域別の国内総生産（GDP）を比較したとき、欧州連合（EU）の経済規模について説明したものとして正しいものを選びなさい。（2024年 京都府公立入試 類似）

1. アメリカの約21兆ドルに次ぐ規模であり、中国の約14兆ドルを上回っている
2. 世界最大の経済規模であり、約21兆ドルの国内総生産を誇るアメリカをも上回っている
3. 中国の経済規模を下回っており、アメリカ、中国に次ぐ世界第3位の規模である
4. アメリカの約半分程度の経済規模にとどまっており、加盟国の合計でも中国に及ばない

問7　ドイツでは、環境対策として再生可能エネルギーの導入を積極的に進めており、発電電力量に占めるその割合は四割を超えています。ドイツがこのようなエネルギー政策を推進し、特に原子力発電の割合を三パーセント以下にまで低下させてきた背景として、最も適切な説明はどれですか。（2025年 千葉県公立入試 類似）

1. 欧州連合（EU）の共通政策により、すべての加盟国に対して原子力発電所の即時停止が義務付けられたため。
2. 国土の大部分が急峻な山岳地帯であり、豊富な水資源を利用した水力発電が電力供給の柱となったため。
3. 環境政党の台頭や福島第一原発事故の影響を受け、脱原発と再生可能エネルギーへの転換を国策として決定したため。
4. 北海における大規模な海底油田の掘削に成功し、火力発電の燃料を安価に自給できる体制が整ったため。

問8　ヨーロッパ北西部で広く行われている、小麦やライ麦などの穀物栽培と、牛や豚などの家畜の飼育を有機的に組み合わせて行う農業形態を何といいますか。（2014年 愛媛県公立入試 類似）

1. 混合農業　2. 移牧　3. 酪農　4. 地中海式農業

問9　ヨーロッパ連合（EU）において共通通貨が導入されたことによる利点として、最も適切な説明はどれですか。（2014年 和歌山県公立入試 類似）

1. 加盟しているすべての国が全く同じ農産物や工業製品を生産するように義務付けられた。
2. 域内の国々の間で、国境を越えて貿易や旅行をする際の両替の手間や手数料がかからなくなった。
3. 各国の政府が自由に通貨を発行できるようになり、独自の景気対策が以前よりも容易になった。
4. 域外の国々、例えば日本やアメリカ合衆国との貿易においてもすべて同じ通貨で決済できるようになった。

問10　1990年から2018年にかけての主要国の統計において、二酸化炭素の総排出量と一人当たりの排出量の両方が減少傾向にあり、環境対策が進んでいるとされる国を次の中から選びなさい。（2023年 奈良県公立入試 類似）

1. アメリカ合衆国　2. 日本　3. 中国　4. ドイツ

問11　ヨーロッパ連合（EU）の加盟国において、共通通貨である「ユーロ」を導入することの経済的な利点として、最も適切な説明はどれですか。（2018年 群馬県公立入試 類似）

1. 加盟国すべての物価や賃金を完全に同じ金額に固定することで、所得格差を即座に解消できる。
2. ヨーロッパ以外の地域からの輸入品に対して、一律で高い関税をかけることができるようになる。
3. 域内の貿易において両替の手間や為替変動のリスクがなくなり、経済活動がより活発になる。
4. 加盟国独自の財政政策を廃止し、すべての国の国家予算を一つの機関が管理できるようになる。

問12　EU（欧州連合）には、デンマークなどの古くからの加盟国と、2004年以降に加盟した東ヨーロッパやバルト海沿岸の国々が混在しています。これら加盟国間で見られる「一人あたりの国民総所得」の特徴について説明した文として、最も適切なものはどれですか。（2020年 福島県公立入試 類似）

1. 後から加盟した国々は、古くからの加盟国に比べて一人あたりの国民総所得が低いだけでなく、加盟後の経済成長も停滞し、数値が減少している。
2. 古くからの加盟国は、後から加盟した国々よりも経済成長にともなう所得の増加率が高いため、EU内の経済格差は拡大し続けている。
3. 後から加盟した国々は、古くからの加盟国よりも一人あたりの国民総所得が高く、さらに経済成長による数値の増加率も極めて高い。
4. 後から加盟した国々は、古くからの加盟国に比べて一人あたりの国民総所得は低いが、その後の経済成長による数値の増加率は高い傾向にある。